



# 図書館だより



学部1年生、編入3年生、修士、博士の入学生の皆様、ご入学おめでとうございます！在校生の皆様、今年度も実りある1年になることを願っています。図書館だよりは、皆さんに図書館にたくさん足を運んでもらい、有意義に活用していただきたいという願いをこめて発行しています！



## トピックス

- News！！開館時間が早くなります！！  
新年度から、午前8時50分開館となります。閉館は午後8時です。授業開始前からの活用が可能となりました。土曜日や長期休暇中など異なるときもありますので、くわしくは開館スケジュールをご覧ください。
- ひざ掛け・消しゴムカス専用のゴミ箱・メモと鉛筆が設置されました！  
学生からの要望にこたえて、快適に図書館で過ごしていただくための環境を整えていますので、より多くの学生のご利用をお待ちしています♪活用してみても感想や、希望もお寄せください。
- 相互協定大学・短期大学図書館が少しずつ増える予定です！  
TBCの企画で、連携大学・短期大学の図書館訪問が実現しました。詳しくは下↓をご覧ください。
- 選書ツアーで購入した図書が入りました！新刊棚へ是非！！



図書館だよりは、毎回ちょっと新しいニュースをお伝えするとともに、お薦め図書や耳よりの図書館利用方法などを紹介します。

前号に引き続き、赤十字の看護教育が始まって125年、つまり本学の創立125周年を、また、戦後70年以上が経過したいまだからこそ、少しずつですが看護の歴史を紹介していきます。

第7号は、新図書館長守田美奈子先生にお薦めの本を紹介していただきました。

### 図書館ビューティークラブ (TBC)

相互協定大学・短期大学図書館訪問で聖心女子大学・青山学院女子短期大学の図書館に訪問してきたので、ご報告です。

#### ☆聖心女子大学図書館

正門(お寺のような門)から入ると図書館までの距離がある程度あるので迷いそうになります。聖心女子大学の図書館のホームページに地図が載っているので参考にしながら行くと良いと思います。学生証を提示して図書館の中に入ります。日赤看護大学の学生への貸出は行っていないのですが、コピー機は使えるので気になる資料がある場合はコピーすることができます。とても古い書物や美術や事典などの珍しい本も多かったので興味のある方はぜひ訪れてみてください。リフレッシュコーナーには畳のスペースもありユニークな図書館でした。

#### ☆青山学院女子短期大学図書館

入館受付表に名前等を記入して入館します。日赤看護大学の学生の貸出は行っておらず、コピーする時にはコピー表を記入が必要です。服飾、心理学等の人文科学系の図書や幼児教育系の図書が多かったです。絵本の種類も豊富にあり、図書館を巡っているととても楽しかったです。

#### ・訪問しての感想

本学は看護系の蔵書は豊富です。しかし、本学には他分野の本で自分の求めている資料がない場合もあります。聖心女子大学や青山学院女子短期大学には本学には置いていないようなジャンルの本が沢山置いていたので、本学の図書館に資料がない時などに他大学の図書館を利用してみてください。どちらの大学でも司書の方々がとても親切でした。わからないことや興味のあることなどは質問すると快く答えてくださると思います。ぜひお話ししてみてください。新しい本との出会いがあるかも知れません。

TBC 学部2年 面川由佳・草塩由紀子

### 広尾館開館スケジュール

4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

### 図書館ビューティークラブ (TBC) メンバー募集

皆さんこんにちは！ TBCは、本好きの学部生や編入生、大学院生による有志の会です。2年半前に結成されて以来、TBCは数多くの企画を実現してきました。たとえば、ガラス張りの窓の近くにソファを置いて「くつろぎスペース」を作ったり、本学の歴代学長の著作を肖像画とともに紹介したり、学生目線で購入図書を選定したり。いわゆる“サークル活動”の1つなのですが、TBCのユニークな点は、教職員が組織する図書館運営委員会とタイアップして活動を行なっているところ。TBCの企画が実現につながりやすいのも、そのためかも・・・本学の図書館は、14万冊もの蔵書をほこる、看護系大学の憧れの図書館といわれています。もっと有効に活用してもらうには、学生が使いたい図書館にするのが一番です！  
\*\*\*私たちと一緒に活動して下さる学生さんを大募集中です！まずは見学からどうぞ♪興味のある方は、図書館課 lib@redcross.ac.jp まで、ご連絡をお待ちしています \*\*\*

## 歴史発見! 第3回

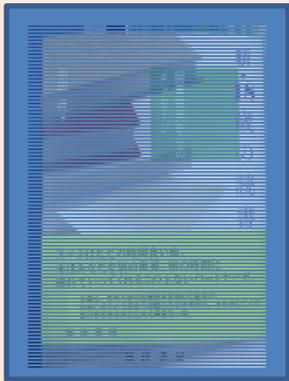
『大学125年史』を編纂するなかで、興味深かった史料をご紹介します。戦後、日赤と聖路加はGHQ(連合軍最高司令官総司令部)の指導のもと、合同で新しい看護教育のモデルスクールを運営しました。よい看護教育を行うには実習場の整備が重要です。GHQの米国人ナースと聖路加の湯楨先生と日赤の井上なつ系先生は、学生たちのためにつぎつぎと病院の看護と学生の学習環境を改善していきました。

看護がしなくてもよい仕事を雑役夫に任せ、学生が授業にでられる時間を確保する。それまで必要なかった産婦人科や小児科の病棟を開設し、新たに精神科看護や保健所実習の場を開拓する。病院の他部門に対して、患者に配布する薬に薬品名を示すメモをつけてほしい、食事箋に患者の病名を書く欄を設けてほしいなど要望を出して、患者に薬や食事の説明や指導をするのは看護の役割であることを伝えました。米国の看護技術のテキストをもとに、ベッドメイキングなどの看護技術のマニュアルを整え、病棟の看護婦たちが学生を同じように指導してくれるよう、実習前には教員が看護婦にデモンストレーションをしたり…。その徹底ぶりに看護管理と教育の重要性を感じた次第です。

〈図書館運営委員 川原〉

## 図書館長 守田美奈子先生のお薦めブック

和田渡著、『新・18歳の読書論』



今年度から逸見教授と交代(任期満了)で、図書館長に就任しました守田と申します。よろしくお願い致します。

今回は4月に入学された1年生、あるいはどんな本を読めばいいか迷っている人にお勧めの一冊をご紹介します。

「新・18歳の読書論」(2013、晃洋書房)です。

著書の和田渡先生は阪南大学の教授です。あとがきによれば、「図書館長在職時代から大学のHPに書き始めて、職を退いた後も連載している『おすすめの一冊』コーナーの文章に手を入れたもの」がもとになっているそうです。和田先生とは、ある研究会で一緒だったので良く存じあげていますが、文学青年がそのまま大人になられた印象があり、ほんとうに素敵な先生です。

この本は「図書館長からのメッセージ」という副題もついており、大学生になられたばかりの1年生だけではなく、新米の図書館長である私にとっても興味深い本です。本の帯には「スマホはただの時間食い虫、本はあなたを別の世界、別の時間に連れて行ってくれるこの上ないパートナーだ」「本は異世界への扉」と書かれています。本を読むことの喜び、楽しみを若者に伝えたいという思いがいっぱい詰まった本です。

目次は、1か月に2冊の本に出会うことができる構成になっており、様々な分野の本が紹介されています。和田先生は哲学の先生ですが、デカルト等の難しい本ばかりでなく、「EXILE HIROと知花くららが語る愛—自己愛と他者愛—」といったタイトルで、EXILE HIROの「ビビリ」(幻冬舎、2014年)や、知花くららの「クラと言葉」(講談社、2015年)なども紹介しています。夏目漱石、吉村昭の歴史小説から、ショーペンハウアー、ハンナ・アーレント等も紹介されています。その幅の広さに感嘆しますが、それらの本のエッセンスが和田先生からのメッセージとして分かりやすく書かれております。最後の章は、なんとスティーブ・ジョブズの卒業式のスピーチでめくられています。この本は「18歳の読書論」の続編として出版されていますので、ぜひ最初の本も手に取ってほしいと思います。本をどうやって選び、どのように読むのか、図書館長からの学生達への愛を込めたメッセージとして伝わって来ます。この本を手がかりに、自分の世界を広げてくれる本の森の探求に出かけて欲しいと思います。

私も図書館長として、図書館の環境を整え皆さんの世界が広がり深まるお手伝いをこれからしていきたいと思っています。ご希望や要望があれば、どうぞいつでも図書館に伝えて下さい。

文責 守田美奈子

## 国家試験対策情報

～3月の棚より～



図書館には、様々な最新の国家試験関連のテキストが置いてあるのをご存じですか。「図書館にある国家試験のテキストが古い」「もっと国家試験の勉強をしたくなる環境にして欲しい」…数年前の学生さんたちから寄せられた声でした。そこで、大学へ献本された新しい本を学生の皆さんが活用できるようにと、この棚はできました。何の本を購入しているか迷っている方、自分の持っている本以外も確認したい方、「国家試験ってどんな問題が出題されているんだろう」と気になる方…ここにある本たちを是非手にとってみてください。

この春、国家試験を終えた先輩たちから寄せられた意見として、多くの先輩は、「1人で学習する落ち着いた場所」として「図書館」を挙げてくれました。「棚にある国家試験関係の本が充実していて助かった」、「図書館に毎日来て生活のリズムをつけた」、「ソファで一息つけた」という意見もいただきました。今後も、図書館では、皆さんからの意見をもとに、皆さんが学びやすい環境へどんどん替えていきたいと考えています。様々なご意見をお待ちしています。(図書館運営委員 斎藤)

かわいい  
ひざ掛け



PC横に  
鉛筆と  
メモ。  
ご自由  
に!



消しゴムカス  
のゴミ箱



イラスト Aya Shiraqi

編集・発行

日本赤十字看護大学

図書館運営委員会